

ねん え と  
2019年の干支 イノシシについて

あけましておめでとうございます。

こんかい ねん え と しょうかい  
今回は2019年の干支、イノシシについて紹介します。



【ニホンイノシシ】

たいちょう せんち  
体長: 100~150 cm  
たいじゅう  
体重: 50kg~100kg  
ぶんぶ ほんしゅう しこく きゅうしゅう  
分布: 本州・四国・九州など。

にほん おきなわしょとう  
日本にはこのほか、沖縄諸島などにリュウキュウイノシシが生息しています。

イノシシは雑食で木の実や根、ミズや昆虫などの小動物を食べます。

低い山地や平地で、草原や森林の水場があるところに暮らしています。

寄生虫を落としたり、体温調節のために自ら泥まみれになることがあり、これを行う場所を「沼田場」といい、「のたうちまわる」の語源になったと言われています。

雌雄(オス・メス)ともに犬歯が発達し、牙になっています。

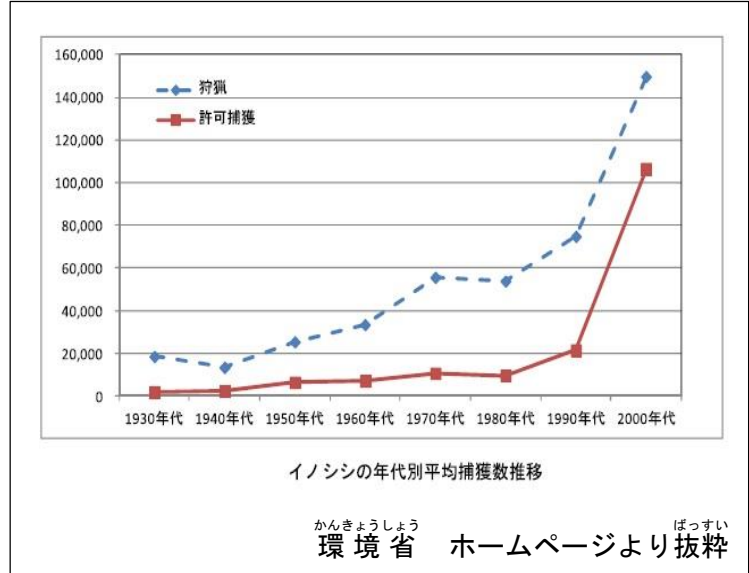
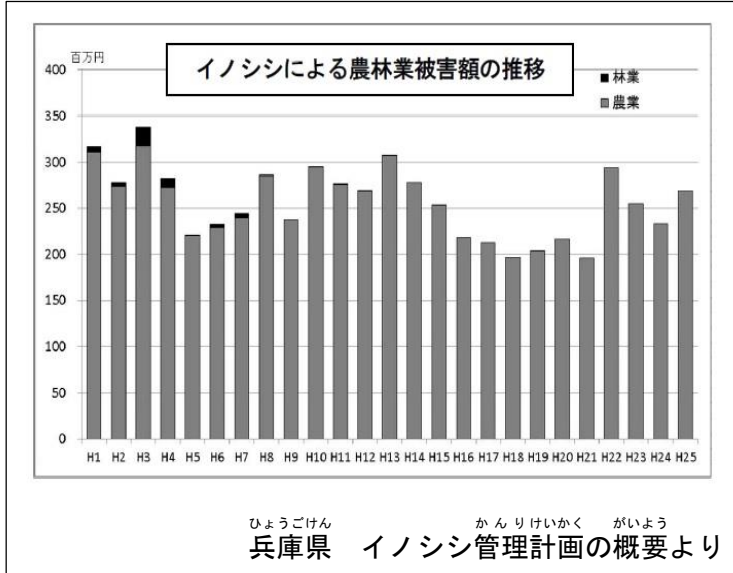
イノシシの子どもは生後4か月ぐらゐで、シマウリに似た縦じま模様をしていて、「ウリボウ」と呼ばれます。(右の写真)





# イノシシによる農業などの被害について

ひょうごけんない のうさんそんち い き ちゅうしん のうぎょうひ が い ひろい はん い  
兵庫県内では、農山村地域を中心に、イノシシによる農業被害が広い範囲で  
み もんたい  
見られ、問題になっています。



へいせい ねんど のうぎょうひ が い が く おく せんまんえん や せいせいぶつ ひ が い わりい  
平成25年度の農業被害額は2億7千万円で、野生生物による被害の3割以  
じょう  
上をしめています。そのため、捕獲などによる個体数管理が行われていますが、

げんしょう こうれいか こうさくほうきち ぞうか か だい おお じょうきょう  
ハンターの減少や高齢化、耕作放棄地の増加など、まだ課題が多い状況です。

いっぽう ほかく にく りゅうつう りかつようすいしん こころ  
一方で、捕獲されたイノシシの肉をジビエとして流通させるなど、利活用推進の試  
おこな  
みも行われています。

ろっこうさんち え づ げんいん か じんしんひ が い  
また、六甲山地では餌付けが原因のイノシシによる咬みつきなどの人身被害

じ こ ねんかん けんいじょうお こうべし ぜんこく はじ えさ  
事故が年間10件以上起きており、神戸市では全国で初めて、イノシシへの餌やり

きんし じょうれい せいてい で あ  
などを禁止した「イノシシ条例」を制定しました。もしイノシシに出会ってしまったら、

しげき あと ば はな えさ  
刺激しないようゆっくり後ずさりし、その場を離れるようにして下さい。人から餌を

がくしゅう ひと おそ きけん えさ ぜったい  
もらうことで学習をして、人を襲うようになる危険もあります。餌をやることは絶対

くだ  
にやめて下さい。

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL:078-331-1146 FAX:078-331-1148

